

MAHASRI-iLEAPS 連携で何ができるか

Collaboration between MAHASRI and iLEAPS

小池 俊雄 [1]
Toshio Koike[1]

[1] 東大・工
[1] Department of Civil Engineering, The University of Tokyo

<http://www.ceop.net/>

気候システムは水・エネルギー循環と炭素や窒素などの物質循環によって構成され、駆動されている。観測や数値モデルによる現象の統合的な理解や予測は、気候システムやその変動性の理解、ならびに気候変化の予測に有益なデータや情報を提供する。水・エネルギー循環の分野は、主として世界気候研究計画 (WCRP) 全球エネルギー水循環観測実験研究 (GEWEX) として研究が進められてきており、物質循環については地球圏 - 生物圏国際協同研究計画 (IGBP) 陸域生態系 - 大気圏相互過程理解のための統合化研究 (iLEAPS) の枠組みでの研究が始まった。

これらの活動を調整し、得られる統合化されたデータや科学的知見の集積によって、エネルギー、水、化学物質が相互に作用する現象、例えば、エアロゾル - 水循環相互作用などの理解が進み、アジアモンスーン変動に対する知見の向上も見込まれる。このように両分野のデータや情報を分野を超えて利用することによって、地球環境の包括的な理解が可能となる。そのためには、分野間の相互連携性を促進が重要である。